

《自己評価シート》

とてもよくできている(◎)

できている(O)

あまりできていない(△)

まだ取り組んでいない(?)

Ⅱ 保育の在り方、3歳未満児への対応
指導的立場(園長・主任用)

内 容	◎	O	△	?
1、健康と安全への配慮				
① 朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳児の健康状態を確かめるよう指導している	100			
② 体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど、適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡するよう指導している	100			
③ 保護者から健康状態などの申し出など受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼癖などの既往症について把握するよう指導している。	100			
④ 体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせるとともに、バランスの取れた発育が促されるように配慮するよう指導している	100			
⑤ 家庭と連携をとりながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てるよう指導している	67	33		
⑥ 睡眠が十分とれるような静かな環境を整え、午睡の状態(呼吸・顔色・嘔吐・汗)、およびSIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックを記録するよう指導している	100			
⑦ 一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツ交換をしたり、トイレに促すよう指導している	67	33		
2、乳児のみとりと理解				
① 乳児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察して受け止め、信頼関係を築くよう指導している	33	67		
② 一人ひとりの乳児の発達課題について見通しをもって保育するよう指導している	33	67		
3、指導と援助				
[心のよりどころとして]				
① 落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、乳児が人との関わりを楽しむことや心地よさを味わえるようにするよう指導している	33	67		
② 泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をするよう指導している	67	33		
[遊び・活動の援助者として]				
① 乳児の心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えるよう指導している	33	67		
② 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとり、安心感と自己肯定感がもてるような言葉かけをするよう指導している	33	33	33	
③ 禁止語を不必要に用いないよう指導している	33	33	33	
[その他]				
① 乳児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解できるよう指導している	67	33		
4、保育者同士の協力・連携				
① 保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいる保育者が適切な言葉かけや対応をするよう指導している	67		33	
② 指導上配慮を必要とする乳児については、園全体で話し合い共通理解をもって対応するようになっている	100			
③ 他クラスや異年齢児との触れ合う機会がもてるようにさまざまな工夫、保育の形態に配慮するよう指導している	67		33	

7、よくできていると思えたこと	実際にあったエピソードなど
8、これからやってみたいと思ったこと	簡単なスケジュールやプランなど

※園の記載欄

9、コメント①(ほめポイント:本人の事実)	コメント②(指摘ポイント:本人への期待)